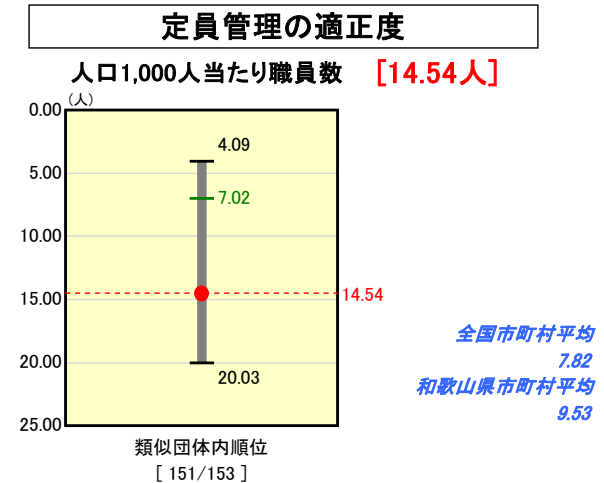
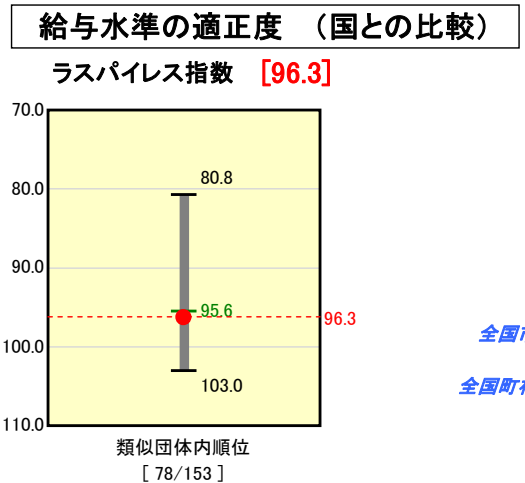
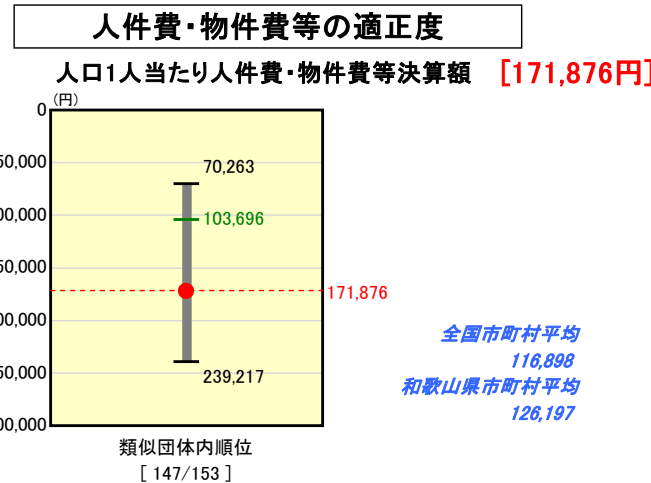
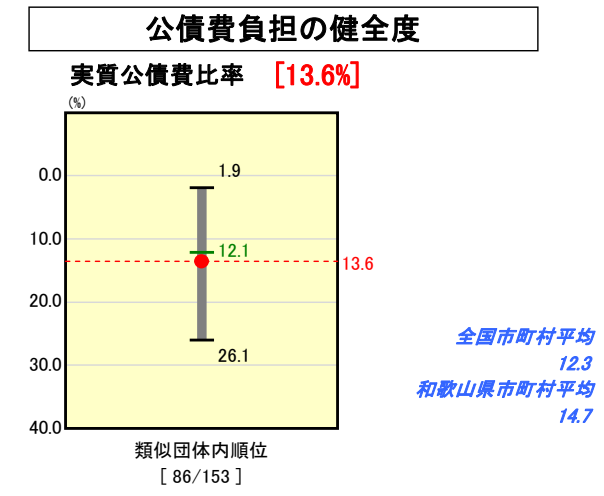
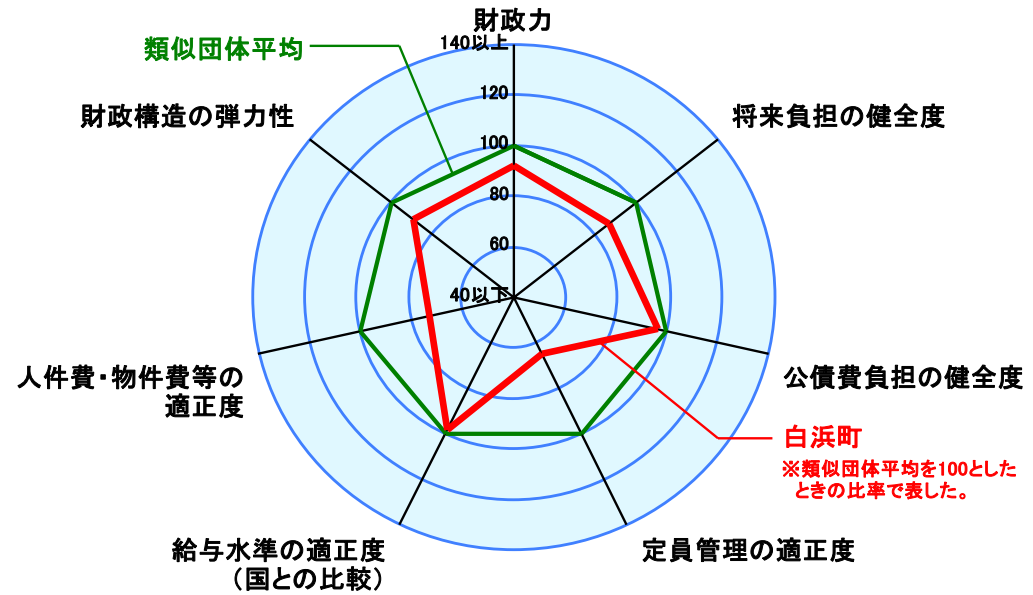
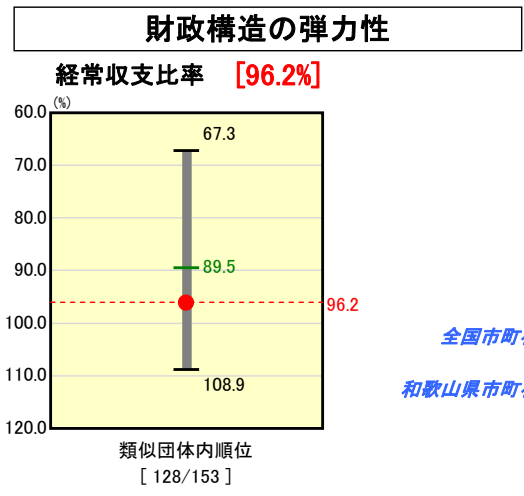
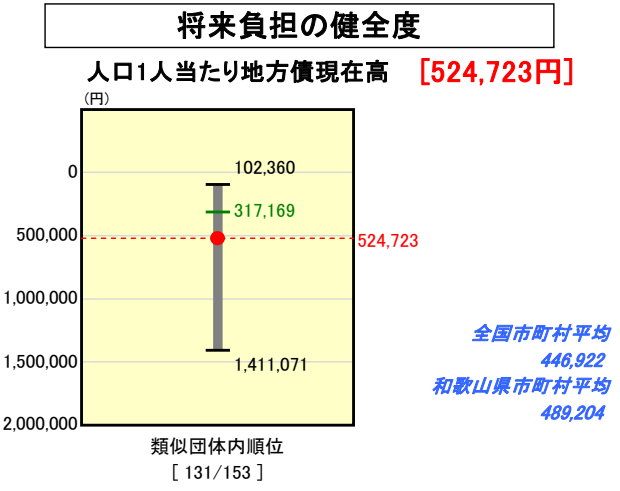
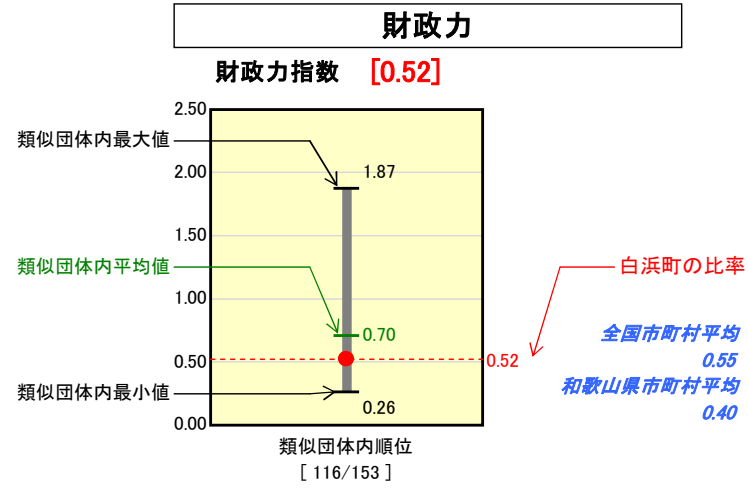


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 和歌山県 白浜町

人口	23,998 人(H20.3.31現在)
面積	201.04 km <sup>2</sup>
歳入総額	11,843,934 千円
歳出総額	11,613,960 千円
実質収支	218,418 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**【財政力指数】**  
合併後の3年間の数値はほぼ変わりはないが、依然として類似団体と比較すると低く、財政基盤が強いとはいえない状況である。今後も財政健全化プランに基づき、自主財源確保の取組みを積極的に推進し、事務事業の再編整理・廃止統合、定員管理・人件費の適正化等により、財政基盤の強化に努める。

**【経常収支比率】**  
年々数値が上昇し、96.2%と高い数値になっている。主な要因として公債費の充当一般財源が増加したこと、また特別会計への赤字補填的な繰出金が多額になってきていることがあげられる。今後、経常一般財源の増加を図ることは重要であるが、地方税収等の増加を求めるのは厳しい状況であり、人件費をはじめとする経常経費のさらなる削減に取り組む。

**【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】**  
類似団体と比較し非常に高い数値の要因は、人件費が高いためである。財政健全化プランにもあげているように、施設の統廃合を含めた組織機構の見直し、民間委託の推進等により、行政サービス水準の維持と効率性を検討しながら、コストの削減を目指す。

**【ラスパイレス指数】** 96.3%と類似団体と比較しほぼ同じ水準となっているが、社会情勢や国、他市町の状況等を踏まえ、引き続き給与水準の適正化に努める。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
人口1人当たりの地方債現在高は524,723円と類似団体平均の317,169円を大きく上回っている。これは、空港建設に伴う清掃センター、斎場、最終処分場の建築事業の起債や、道路橋梁整備事業、また健康交流拠点施設の未償還額が大きいためである。

**【実質公債費比率】**  
実質公債費比率は13.6%で財政健全化基準値を下回っているが、今後は、合併特例債の本格的な元利償還がはじまってくるため、比率の上昇が予想されている。また小中学校の耐震化事業やその他の合併特例事業など様々な事業が計画されているが、事業の緊急性、費用対効果などを十分に考慮し、また可能な限り事業費の縮小を図ることで地方債の発行を抑え、健全な財政運営を行う。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
類似団体の中で最低レベルにある要因は、当町が年間300万人の観光客が訪れる『観光の町』であり、施設が多い等人口規模以上に様々な行政需要に対応するために職員数が多くなっているためである。またごみ処理業務や消防業務も単独でおこなっており、特に消防は隣の消防業務も受託しており職員数に影響している。今後は白浜町職員適正化計画に基づき、事務事業の見直しや庁内組織の再編成、民間委託の推進等を進め、適正な定員管理に努める。